



2023年8月31日 No.168

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 池内 顕典

東京都港区芝2-8-13 KITAハイム芝3F

TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857

URL: http://www.nugw.jp

E-mail: nugw@nugw.jp

# 全国協第33回定期大会を成功させよう！

## ◎汚染水の海洋投棄を許さない！

8月24日、岸田政権・東電は、福島第一原発事故の汚染水130万トンの海洋投棄を強行し始めた。炉心溶融によるデブリの除去にも手を付けられない現状で、廃炉まで30年を大きく超えるのは間違いなく、その間

## ◎定期大会の成功をかちとろう！

私たちは、来る9月9日、第33回定期大会を開催する。ウクライナ侵略戦争とコロナ禍の中で、生活必需品はじめ物価高騰は激しく、実質賃金は長期低下している。岸田政権は、円安放置と株高のための大規模金融緩和を継続して、大企業と

私たちは、生活危機の突破かけ、大幅賃上げを断固かちとらなければならぬ。また、岸田政権が台湾有事・日本有事を煽り、軍拡増税と「新たな戦前」への道を許してはならない。

## (1)大会の二つの基本方針について

そのための全国協の基本方針として、第一に、格差・貧困の拡大を許さない4つの「職場・地域の課題」に

取組むことが重要だ。

- ①法定最賃の大幅引き上げ・全国一律1500円実現を職場賃金闘争と運動させる。
- ②同一労働・同一賃金・均等待遇実現に向けた要求・運動を強化する。
- ③いのちと生活を蝕む長時

(2)そして第二の基本方針として、政治的・社会的課題に積極的に取組むことが重要だ。

- ①「改憲・戦争への道、軍拡・大増税、生態系の原発復帰」を許さない運動、
- ②「基本的人権の確立、多文化多民族共生」をめざす

## (3)具体的な取組みについて

- ①法定最賃大幅引き上げ・全国一律1500円実現を職場賃金闘争と運動させる取組みが、さらに重要だ。
- ②同一労働・同一賃金・均等待遇実現に向けた要求・運動を強化し、いのちと生活を蝕む長時間労働、雇用破壊につながる雇用流動化政策に反対する労働者保護政策を実現する取組み。全

間労働、雇用破壊につながる雇用流動化政策に反対して、労働者保護政策を実現する。④労働局や最賃審議会などへの全国統一行動を取り組む。⑤今秋以降の衆院解散、総選挙が取りざたされており、岸田政権の改憲にむけた「改憲発議」や「改憲案提示」を許さない世論を大きくしよう。以上、定期大会の成功をかちとろう！

ア緊張緩和・平和外交を求めよう。また、防衛費拡大・殺人兵器開発・武器輸出と、軍拡増税に反対しなければならぬ。12月3日若狭老朽原発再稼働阻止の全国集会に結集しよう。

④すべての争議に勝利しよう。数年にわたる全国協の、山紀会スラップ訴訟、ジェンマジャパン解雇争議、駒ヶ根市社協解雇争議に勝利した。

⑤今秋以降の衆院解散、総選挙が取りざたされており、岸田政権の改憲にむけた「改憲発議」や「改憲案提示」を許さない世論を大きくしよう。以上、定期大会の成功をかちとろう！

### スケジュール

- ◎9/9(土)13:00～12(日)正午まで 全国協第33回大会 @新橋ばるーん3階303室(Web併用)
- ◎9/22(金)10～17時 キステム裁判・証人尋問 @盛岡地裁301法廷
- ◎9/24(日)13時～25(月)正午まで 全労協第35回大会 @大田区産業プラザPio



# 9/22 証人尋問 盛岡地裁に傍聴を！ 声明 共に闘い、今こそ非正規労働者の勝利を実現しよう

全国一般全国協議会中央執行委員長 平賀雄次郎

同一労働・同一賃金を求めて闘う、契約社員高橋さんの裁判は、いよいよ本年9月22日、証人尋問をむかえます。

これまで、非正規労働者への賃金差別に対して全国多くの仲間たちがNO！の声を上げて闘ってきました。

そして、郵政産業で働く仲間たちが諸手当について、同一労働同一賃金を認定させ

て、画期的な判決を闘いとりました。しかし、賞与や退職金といった収入の基幹部分の同一賃金を求める裁判では、非正規労働者の訴えを斥ける事例が続いています。

その中で、警備会社キステム東北支店管轄の営業所で12年働いている事務担当の女性契約社員高橋さんが、昨年1月、非正規に対する

賃金差別を禁止したパートタイム有期雇用労働法を根拠に裁判闘争を決起しました。

キステムは、正社員に年間5・5か月分くらいの賞与を支給しますが、非正規の高橋さんから契約社員及び社員の大半を占める警備員には1円の賞与も支払いません。高橋さんの勇気ある行動に答えて、全国から多

くの支援が注がれました。高橋さん、支援の皆様、弁護士が一体となった闘いで裁判が有利に進んできたものと確信します。2000万人の非正規労働者の権利を守り、生活を守るために、傍聴席を支援者で埋め尽くし、高橋さんの勝訴を実現させましょう。

「アルバイト・パート募集時平均時給調査」を基に、スタッフの募集賃金が全職種中最も低いランクに位置しており、改善を要請してきました。しかし、「2023年5月度アルバイト・パート募集時平均時給調査」によれば、首都圏などの三大都市圏における全職種の募集時平均時給は1150円ですが、コンビニスタッフの時給は1049円！全60職種中、最も低い金額で、最賃に張り付き平均よ

## 全国すべての店舗で、時給1500円以上！ 大手コンビニ本社へ求人募集賃金の引き上げを要請



6月25日 コンビニ本社要請

昨年来の物価高騰は、低所得者層の生活を直撃し、生活に困窮する世帯が増大しています。私たちは、2014年以来、パート労働者など非正規雇用労働者の賃金・労働条件改善のために、地域の賃金相場形成に大きな影響力を持ち、さらには日本の低賃金構造の責任の一端を負う、大手コンビニエンスストア3社に対し

して、求人募集賃金の引き上げを要請してきています。コンビニの店舗数は全国で約5万7000軒あり、そこでは約1000万人のパート・アルバイト等の非正規雇用労働者が働いています。コンビニスタッフの募集賃金は、地域におけるパート・アルバイト等の募集賃金の大きな指標になっています。「リクルートジョブズリサー

チセンター」が公表する「アルバイト・パート募集時平均時給調査」を基に、スタッフの募集賃金が全職種中最も低いランクに位置しており、改善を要請してきました。しかし、「2023年5月度アルバイト・パート募集時平均時給調査」によれば、首都圏などの三大都市圏における全職種の募集時平均時給は1150円ですが、コンビニスタッフの時給は1049円！全60職種中、最も低い金額で、最賃に張り付き平均よ

## 9月1日から職場復帰へ 駒ヶ根市社協解雇事件で勝利和解かちる 長野一般労働組合

社会福祉法人駒ヶ根市社会福祉協議会の職員で、椎間板ヘルニアを発症したA組合員(当時54歳)が、2020年6月8日、突然社協から解雇された事件は、2023年6月21日、控訴審の東京高裁で、「解雇撤回、原職復帰」などほぼ完全勝利和解となった。

A組合員は「自分の主張が認められてうれしい。職場復帰して頑張っていきたい」と話している。全国で働く介護職などの福祉労働者に朗報となった。

高裁の和解には「職場で就労する全ての職員に対し、介護業務に関する法令を遵守するとともに、厚生労働省の腰痛予防ガイドラインを参照し、職員の教育、指導に当たること」などの和解条項が盛り込まれた。

今後、復職条件等について団体交渉で決めることになる。3年と長期になりましたが、これまでのご支援に感謝申し上げます。

(委員長 荒井宏行)

私たちは、全国協本部が

大手コンビニ本社に申し入れを行い、栃木・東京4労組・京都の仲間が地域エリア本部への申し入れを行っています。今後も引き続き、全国一律最賃1500円以上を求め、当事者と一体となり地域からの運動として「求人募集賃金の引き上げ要請」に今後も取り組んでいきます。

(副委員長 渡辺啓二)

8・26

### 介護崩壊STOP!!大阪集会 ケアワーカーズユニオン

8月26日(土)、大阪のPLP会館で、もう限界だ！人を増やせ！賃金上げ



ろー！みんなの集会2023が開催された。会場は60人いっぱい、リモートでも東京、福島、京都など各地からケア労働者や研究者が参加した。

現場からの声が発せられたが、集会名称そのものがアマネからは地域に人がいない。山紀会支部からは争議御礼とともに人手不足で事業縮小。寿楽荘は処遇加算と言っても最低賃金追っかけ。ラ・アケソニアからはサービスク残業で回る職場。東京からはトータルサポー

ト台東が、やはり人手不足の障がい者介護の現状を報告した。

もう崩壊寸前のケア労働の最先頭を行くヘルパー達による「国は何とかしろー」という国賠訴訟から、3名の原告、山本弁護士。あまりにひどいヘルパーの待遇を皆知らない。平然と労基法違反させる厚労省を抜本的に改めさせようと怒りをこめた報告をおこなった。

大石あきこ議員(れいわ新選組)が「処遇改善加算」追及の報告。大椿裕子議員(社民党)がメッセージ。日下部雅喜さん(大阪社保協)が超特急で基調報告

「超絶人不足、現場は崩壊寸前！それでも軍事優先ですか？」を提起。介護に使われているのは国家予算のたった2・6%。うなぎ上りの軍事費増強、社会保障費を削り取ったの形だけの少子化対策は止めさせよう！と現場の声を代表して締め括った。

最後は行動提起だ。財務省・厚労省への要望書を確認、昨年を上回る参加・賛同を呼びかけ、10月結審を迎えるヘルパー国賠訴訟へは署名を集中、大阪集会に続いて10・14東京集会を成功させよう！と力強く訴えた。

8・21

### 異議申立書を提出 労働局・最賃審議会への行動 ユニオン北九州

北九州の労働組合・人権団体が結集している平和・労働・人権北九州共闘センターは、7月21日、福岡労働局に対し、最低賃金の改定に関する意見書を提出しました。

19円もの格差があります。全国平均は961円で、九州の中で最も金額の高い福岡県でも900円と、平均に遠く及ばない金額です。意見書では、これらの現状をふまえ、九州各県について1000円以下の最低賃金をなくすこと、また、国に対して最低賃金の次期上

げにあたって中小・零細企業に対する支援策を講じること、最低賃金審議会を公開とすること等を要請しました。

福岡県においては、意見書提出は公示されるもの、意見陳述の機会はなく、いつもあらかじめ決められた団体の代表、あるいは階層の代表者のみの意見聴取です。そのために、専門部会を含めすべてを公開とするよう求めました。

しかし、審議会は公開されることなく、8月10日に「時間額941円」との答申が出されました。

これに対し8月21日、異議申立書を提出し、時間額を引き上げ1000円以上とすること、意見書を提出しているところからも意見陳述をさせる等、幅広く意見聴取を行うよう要請しました。

7・14

### 祇園祭にうちわで 最低賃金をアピール

きよとユニオン

京都の最賃審議会は7月4日に第1回審議会が開かれました。この日はユニオンネットワーク・京都の仲間が集まって会場前でアピール行動をしました。



7/14 祇園祭の見物客にうちわを配る

7月14日には祇園祭の宵々山でにぎわう四条通の山鉾の前で、うちわを配って最低賃金をアピールしました。8月10日の審議会で目安通りの40円引上げ、1008円の答申が出ています。物価高騰で最低賃金近傍の低賃金労働者の生活は限界です。最低賃金への注目も



7/14 これが最賃うちわ QRコードの部分が抜ける



7/14 祇園祭の山鉾の前で最低賃金大幅UPをアピール(京都市四条烏丸)

高まっています。全国一律1500円以上を実現するために、最低賃金制度の在り方や、人間らしい暮らしの最低限を支える最低賃金の水準について、もっともっと大きな議論と行動を巻き起こす必要があります。異議申し出や10月からの最低賃金の宣伝を通じて労働者の声を掘り起こしていこう。(書記長 服部恭子)

7・29

### Gemma Japan 闘争支える会 解散総会報告

東京労組

2023年7月29日(土) 神保町区民館において、約2年にわたるGemma Japan 闘争の勝利報告及び闘争支える会の解散総会が組合員、闘争支える会の仲間が集結し行われた。開会を前にジェンマジャパンユニオン結成から、闘争支える会の発足等、Gemma Japan 闘争に深く関わり、誰よりも今回の勝利を望まれていた前事務

局次長 野中保夫さんへ黙とうが捧げられた。開会冒頭、大森進代表世話人(東京全労協議長)より全面勝利の報告、支える会の仲間をはじめとした関係者への感謝の挨拶があった。

第一号議案「経過報告及び解散の提起」として、中村賢事務局長(全国一般東京労組組合執行委員長)より、組合結成からの経緯と最終的に組合側からの要求金額での組合員全員の退職和解が成立し、闘争集結に至ったこと、それによる支える会解散の提起がされた。また、第二号議案「会計報告」が佐藤詠治事務局次長(ジェンマジャパンユニオン委員長)から提起され、2つの議案は出席者により採択された。その後、代理人 荒木昭彦弁護士や参集した仲間からの挨拶、当該のジェンマジャパンユニオン佐藤委員長、内田組合員



7月29日ジェンマジャパン 闘争を支える会解散総会

からの謝辞があり、最後は「団結がんばろう」で当該及び全組合員へエールを贈り終了した。(ジェンマジャパンユニオン委員長 佐藤詠治)

8・21

### 第12回大会を開催し 新しい執行体制を確立

東横イン労組

東横イン労働組合は、8月21日、3年ぶりの第12回大会(通算としては14年目)を開催することができました。現場組合員を軸に新しい執行体制が確立されました。

なノルマの押し付け、メンタル休職と復職のための交渉、コロナ療養施設としての一棟貸しや、さらに通常運営への切り替えでの労働条件の問題など、本社との直接のパイプを作って折衝をおこない、不十分ながらも着実な実績をあげてきました。

労使交渉を成立させまいとする会社側弁護士との団体交渉妨害のために、まとも



8月21日東横イン12大会

な交渉ができないという今の状態を打破って、今後、どのような要求交渉をおこない職場を改善していくのが課題です。若い現場組合員たちが、誇りをもって職場を改善し、職場団結で交渉力を強化していくことが必要です。全国の皆さん、新しい執行体制に暖かい支援をよろしくお願いたします。

8・25

### 第41回定期大会を開催

昭和電機鋳鋼労働組合



去る8月25日(金)、昭和電機鋳鋼労働組合は、第41回定期大会を開催しました。今年の5月に新型コロナウイルスの医療法の位置付けが、これまでの2類相当から5類相当(季節性のインフルエンザなど同じ扱い)へと移行され、行動制限の緩和が進みました。こうした現状を踏まえ、今大会は2019年以来4年振りに来賓の方々を招待して開催。全国一般全国協の池内書記長をはじめ、多くの方からご祝辞を頂戴できたことを、組合員を代表して感謝申し上げます。

### 国・東電は汚染水の海洋投棄を中止せよ! ふくしまの海を全国の仲間と守る!

国・東電は8月24日漁業者の反対を押し切り汚染水の海洋投棄を開始した。反戦平和・脱原発の統一行動を目指す「7団体共闘」は、8月27日汚染水海洋投棄の中止を求めて、全国に呼びかけていわき小名浜で集会を開催した。

集会はメイン道路脇の歩道上で賑やかに道行く人々にアピールしながら行われ、500人以上の仲間が結集した。集会では、漁業者が挨拶

し「海は生きている。その生き物に感謝して我々は生活している。今測定限界以下がなんだというんだ今後事故処理がすむまでどれだけの放射能を垂れ流すかだ。断固反対する」と訴えた。立憲民主党・共産党・社民党の、国・県・市の議員達も挨拶し取り組みの強化を誓った。

最後に、海洋投棄の中止を求めた決議文を採択した。(いわき自由労組 書記長 桂武)

9月を控えて心機一転、また新しい1年が始まります。これからも組合員の力になれるよう、執行部一同力を合わせて頑張ります!(執行委員長 常澤洋二)

7・7

東部労組大久保製塩支部重大労災4カ年社前集會に130人が結集!

金もつけ優先の3ライン体制強行NO! 労働者の命を守れ!多くの仲間がともに声を上げる

東京東部労組・大久保製塩支部は重大労災発生から4年となる7月7日、社前での集會を開催。猛暑の中にもかかわらず、全国一般全国協・地域・友好労組の仲間130人が結集しました。大久保製塩支部は、労働者が安心して働ける職場をつくるため7月7日には毎年社前集會を開催することを決定し、この日の集會

開催となりました。

結集した仲間のシユプレヒコールで開始された集會では、支部金澤委員長がこのかんの状況を報告。会社の金もつけ優先、職場の安全を省りみない体質を糾弾しました。

続く連帯の発言では、多くの仲間が「職場の安全」を強く訴え、大久保製塩支部組合員それぞれが「毎年



の集會で職場の安全を訴えていく」と力強く決意表明。支部金澤委員長の団結カンパローで集會は締めくくられました。

(菅野存・東京東部労組委員長)

8・5

まやかしの「技能実習制度廃止」、外国人支援、組織化に力を尽くそう!

福山ユニオンたんぼぼ

8月5日、「外国人技能実習生労働相談、外国籍労働者組織化ズーム交流」がおこなわれた。「ズーム交流会」では、技能実習生など外国人労働者からの相談などの支援活動に従事している労組からの事例報告が行われ、全体で共有してきた。今回も、わたらせユニオン、ユニオン北九州からは、農業に従事している技

能実習生からの相談、支援活動について現状報告があった。

福山ユニオンたんぼぼからは、この間の相談内容が複雑になってきていることや転籍希望が多くなっている報告を行った。従来からあった残業代の未払いの課題は少なくなり、労働条件、住居を含む労働環境に関する相談が増えてきた。ハラ

スメント、労働安全衛生に関することもそれらの一つと言える。これらの相談は、労働者としての権利が保障されていないなどの技能実習制度の矛盾を反映したものとと言える。

外国人労働者は、私たちの隣人であり、パートナーでもあります。労働組合として外国人労働者の支援、組織化は、緊要の課題だ。まやかしの「技能実習制度廃止」、入管法改悪を許さず、外国人支援、組織化に力を尽くそう。

6・26

ALT全国労働条件調査報告会を開催

ゼネラルユニオン

「ALT全国労働条件調査報告会」は2023年6月26日、ゼネラルユニオンが主催してオンラインで開催された。

会議には全国各地で働くALTを始め、2名の国会議員、数名の地方議員、メ

ディア各社に加えて、10年近く前にALTとして来日し雇用主であった大阪・高槻市と闘った元ALTもオンラインから参加した。

参加者は日本語と英語の部屋に分かれ、それぞれで詳細な調査結果とその分析

23春闘・最賃報告

全国協神奈川

全国一般神奈川は、昨年度大会方針に基づき、職場での賃上げと、最賃の取り組みを進めてきた。23春闘では12職場で春闘を取り組んだ。岸田政権が声高々に賃上げを叫んでも、私たち中小・非正規労働者の賃上げは厳しく、粘り強い交渉が続けられている。今春闘では団交拒否で労働委員会への救済申し立てとなっ

り組みは、全国協最賃アップキャンペーン運動と、地域のFF1500(ファイトフォー)運動を進めてきた。5月、6月と全国協最賃署名を地域の仲間と新杉田駅前を取り組み、FF1500では、3月最賃シンポジウムを開催、8月には桜木町駅前以最賃キャンペーンをおこなった。神奈川最賃審議会では、8月1日意見表明をおこなってきた。審議会の一部公開は実現したが、例年の経営委員、労働委員の議論の構図は変わらず、結果、中央最賃目安通りの答申となっている。

神奈川の最賃アップの取

秋に賃金改定交渉が本格化する非正規職場、そして春闘が継続している職場も、最賃改定を力に、賃上げ、秋・冬闘に取り組んでいく。



が報告された。その後全員が全体会議に戻り、通訳を介して多岐に渡る質疑と討論が制限時間いっぱいまで続いた。「よりよい英語教育とALTの公正な処遇をめざして国の政策転換を目指す」ことが全体で確認され会議は終了した。(委員長 浅利俊明)